

群馬県内企業の副業人材活用の動き

～企業の経営課題解決のための専門性の高い外部人材活用に向けて～

群馬経済研究所 主任研究員 丸岡美智世

調査のポイント

現在、地方の中小企業は人手不足に直面しており、販路開拓、組織活性化、新規事業開発といった経営課題に取り組むための人材確保が困難になっていると考えられる。

こうしたなか、正社員として働きながら他社でも働く副業人材を活用する企業が、全国的に増えつつある。本稿では、県内で副業人材を活用する企業を対象にヒアリングを行い、副業人材の活用内容や効果をまとめた。

要約

- 県内では、人手不足に直面する企業が増えており、特に若者や専門性の高い人材が不足していると考えられる。
- 「働き方改革」等の政策やコロナ禍でのリモートワークの普及により、正社員として働きながら副業ができる環境が整いつつある状況下で、副業者や副業希望者が全国的に増えている。
- 県内において、副業人材を活用している企業へのヒアリングによると、活用の効果では、①これまで実行に移せていなかった経営課題解決に向けた一歩が踏み出せたこと、②専門性の高い相談相手を獲得できたこと、③費用対効果が高かったことが挙げられた。
- 今後も、本県企業では人材確保が困難な状況が見込まれる。人材が不足する企業にとっては、副業人材の活用が人材確保の選択肢の一つとなると考えられる。